

別表1 幸福実感一覧表

年代(歳)	場面 象徴世代	 喜び・楽しさ ワクワクする(W) 滝沢市	 成長・学び イキイキする(I) 滝沢市	 生活環境 さわやか(S) 滝沢市	 安全・安心 ホッとする(H) 滝沢市	 人とのふれあい きずなの滝沢市
0歳	すこやか世代	(子ども)みんなが笑顔で接してくれること	(子ども)良い食習慣が身に付いていること	(子ども)身近に体を動かして遊べる機会があること	親以外に、(子ども)世話をしてくれる人がいること	(子ども)大切に見守られていること
	象徴指標	子どもと一緒に過ごす時間(1週間)	家族一緒に食事をする回数(1週間)	子どもが屋外で過ごす時間(1週間)	子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合	子どもが大切に育てられていると感じている人の割合
	目標値	(基準値) 45時間09分 (平成30年度) 46時間20分 (平成34年度) 47時間30分	(基準値) 10.12回 (平成30年度) 12.00回 (平成34年度) 14.00回	(基準値) 13時間06分 (平成30年度) 14時間00分 (平成34年度) 15時間00分	(基準値) 52.6% (平成30年度) 58.0% (平成34年度) 65.0%	(基準値) 75.3% (平成30年度) 77.0% (平成34年度) 80.0%
	やってみよう	親などが、子どもに読み聞かせをする 親などが、1日1回子どもを抱きしめる 大人は、子どもの目の高さで、笑顔で話しかける	親などが、季節の食材を取り入れた食事をつくる 家族一緒に笑顔で食事をする 家族が、家庭菜園やプランター・菜園に挑戦し、子どもと一緒に収穫する	親などが、子どもと一緒に屋外で過ごす時間をつくる 親などが、子育て世代が気軽に集まれる機会を地域でつくる 大人が公園などで子どもが安全に遊べるように気を配る	親などが、子どもと共に、近所の人との挨拶を大切に 親などが、子育てを支援する「ファミリーサポートセンター」や「子育て支援センター」を利用する 大人が、子どもが気軽に行き来できるような近所付き合いを心掛ける	親などが、近所に、子育て世帯であることを知ってもらう 親などが、家族みんなで、子どもとふれあう時間をもつ 親などが、子育ての輪を地域でつくる
6歳	学び・成長世代	(子ども)楽しい学校生活を過ごせること	(子ども)夢中になって取り組めることがあること	地域の皆さんに(子ども)見守られていること	(子ども)悩みを相談できる相手や機会を持っていること	(子ども)積極的に地域に関わっていること
	象徴指標	仲の良い友だちの数	子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合	子どもが安全に通学できると感じる人の割合	子どもが悩みを相談できる相手がいると感じる人の割合	(子ども)地域行事に参加した回数
	目標値	(基準値) 6.06人 (平成30年度) 8.00人 (平成34年度) 10.00人	(基準値) 49.9% (平成30年度) 58.0% (平成34年度) 67.0%	(基準値) 46.3% (平成30年度) 50.0% (平成34年度) 55.0%	(基準値) 52.6% (平成30年度) 62.0% (平成34年度) 70.0%	(基準値) 2.18回 (平成30年度) 3.00回 (平成34年度) 4.00回
	やってみよう	(子ども)その日の出来事を夕飯の時に家族に話す 親などは、子どもの友だちの名前を覚える (子ども)子ども会や育成会の行事に参加する	(子ども)好きな勉強やスポーツを見つけ、取り組む (子ども)好きな勉強やスポーツについて、親などに話してみる 親などが、運動会や学習発表会、文化祭などを見に行く	(子ども)毎朝、スクールガードの皆さんに挨拶をする (子ども)地域のお祭りや行事へ参加する 大人が資源回収などの子どもたちの地域活動に協力する	(子ども)近所の友だちと遊ぶ (子ども)友だちと一緒に通学する 親などが、子どもの悩みを知る・学ぶ機会を地域で設ける	(子ども)近所の人に挨拶する (子ども)地域の行事に友達を誘って参加する (子ども)地域に感謝される活動をする
18歳	自立世代	多くの人とのふれあいの機会があり、人間関係が良好であること	身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があること	地域の皆さんと交流の機会があること	子育てに関わる集まりに参加できる機会が多いこと	地域に仲間がいること
	象徴指標	多くの人とのふれあいの機会があり、人間関係が良好であると感じている人の割合	身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合	地域のお祭りや行事に参加した回数	保育園、幼稚園、小学校などの行事へ参加している人の割合	地域の居心地が良いと思っている人の割合
	目標値	(基準値) 43.3% (平成30年度) 50.0% (平成34年度) 55.0%	(基準値) 39.5% (平成30年度) 45.0% (平成34年度) 50.0%	(基準値) 1.84回 (平成30年度) 3.00回 (平成34年度) 4.00回	(基準値) 50.0% (平成30年度) 60.0% (平成34年度) 70.0%	(基準値) 62.9% (平成30年度) 68.0% (平成34年度) 75.0%
	やってみよう	相手を気遣う気持ちを持つ 時間を上手く使い、自分が自由に使える時間を確保する 近所に、いつでも気軽に集える場所を探す・つくる	学校や職場などで、知識や技術を習得する 学校や職場などで、身に付けた知識や技術を生活に活かす 学校や仕事などで、身に付けた知識や技術を地域に役立てる	広報紙、回覧板を必ず見る 地域の皆さんに挨拶し、名前と顔を覚える 地域行事、イベント、サークルなどに参加する	乳幼児に関する検診、予防接種を必ず受診する 保育園や幼稚園の行事に積極的に参加する 両親学級、子育て教室、親子で参加できるイベントなどに積極的に参加する	地域活動の仕組みを知る 地域活動の会議に参加する 仲間と地域活動に取り組んでみる
50歳	子育て世代	子どもたちの成長を確認できること	情報時代に適応したモラル、スキルを学び、活かす機会があること	子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること	安定した生活を送るための、家族の支え合いがあること	親と子どもの関係が良好であること
	象徴指標	子どもとの会話の時間(1週間)	広報やインターネットなどで、地域の情報を収集・発信している人の割合	参加したいと思える地域行事の数	家族の支えのおかげで仕事に専念できていると感じる人の割合	子どもと一緒に地域活動をした回数
	目標値	(基準値) 26時間00分 (平成30年度) 27時間00分 (平成34年度) 28時間00分	(基準値) 23.2% (平成30年度) 30.0% (平成34年度) 40.0%	(基準値) 2.03回 (平成30年度) 3.00回 (平成34年度) 4.00回	(基準値) 76.6% (平成30年度) 78.0% (平成34年度) 80.0%	(基準値) 1.38回 (平成30年度) 3.00回 (平成34年度) 4.00回
	やってみよう	毎日、子どもと会話をする 子どもと一緒に買い物に行く 小中学校の行事に積極的に参加する	子どもにパソコンを教える 地域の情報をインターネットなど(パソコン、スマートフォンなど)で探してみる インターネットなどで地域の情報を発信してみる	自然を通して子どもたちと過ごす機会(キャンプ・スキー・散歩など)を持つ 近所の子どもと顔見知りになる PTAや子ども会などに積極的に関わる	家庭内で家事を分担する 育児について相談・助言してくれる相手を持つ 子どもが安心して過ごせる場を持つ・つくる	近所の親子と顔見知りになれるような、近所付き合いを 地域でのイベントなど、子ども連れで集まれるような機会を見つける 学校行事や子ども会、PTAなどへ積極的に参加する
65歳	充実世代	世代を越えて交流する機会があること	自ら学び、趣味や地域活動に積極的に取り組める機会があること	豊かな自然を活かして、リフレッシュできること	老後の生活設計が描けること	地域活動などに無理なく参加できる機会があること
	象徴指標	ここ一年で地域活動に参加した人の割合	趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合	定期的に自然と親しむ機会を持っている人の割合	老後の生活設計に不安がない人の割合	地域活動と自分の活動を両立できていると感じている人の割合
	目標値	(基準値) 48.3% (平成30年度) 52.0% (平成34年度) 60.0%	(基準値) 15.7% (平成30年度) 20.0% (平成34年度) 25.0%	(基準値) 47.9% (平成30年度) 54.0% (平成34年度) 60.0%	(基準値) 17.8% (平成30年度) 20.0% (平成34年度) 25.0%	(基準値) 34.6% (平成30年度) 40.0% (平成34年度) 45.0%
	やってみよう	スクールガードに参加する 自治会活動などの地域活動に参加する 子ども会などを支援し、地域の子どもたちに顔を覚えてもらう	新しく自分のやりたいことを探す 趣味や特技と一緒にできる仲間を持つ 趣味や特技を活かして地域の役に立つ	リフレッシュのため、家庭菜園などに取り組む 自分の散歩コースを持つ 仲間と滝沢市の自然にふれあえる機会を持つ	退職後の社会保障制度を学ぶ機会に参加する 退職前後、積極的に近所の人の顔を覚え、挨拶する 地域の健康づくり教室に参加し、健康づくりに気を配る	地域活動の予定をカレンダーに記入する 近所の人・友人を誘って地域活動に参加する 地域活動の集まりなどで、発言してみる
75歳	円熟世代	心身ともに元気になる趣味や活動を通して、地域に役立つ機会があること	地域の伝統・文化や芸能など、次世代に継承できる機会があること	豊かな自然とふれあいながら、健康増進が図られる機会があること	いざという時にも、助け合える繋がりがあること	地域にお互い支え合い、助け合う仕組みが整っていること
	象徴指標	地域に役に立つ機会を持っていると感じている人の割合	地域の伝統・文化や芸能などに親しむ機会があると感じる人の割合	自分の散歩コースを持っている人の割合	いざという時に、頼れる相手がいる人の割合	地域とつながっていると感じている人の割合
	目標値	(基準値) 28.8% (平成30年度) 39.0% (平成34年度) 50.0%	(基準値) 27.7% (平成30年度) 36.0% (平成34年度) 45.0%	(基準値) 47.0% (平成30年度) 54.0% (平成34年度) 60.0%	(基準値) 68.8% (平成30年度) 72.0% (平成34年度) 75.0%	(基準値) 37.2% (平成30年度) 44.0% (平成34年度) 50.0%
	やってみよう	睦大学に参加する 老人クラブやいきいきサロンなどに参加する 自治会活動などの地域活動に積極的に参加する	地域の伝統・文化を鑑賞する機会を持つ 地域の伝統・文化の保存活動などに参加する 地域の子どもたちに伝統・文化を教える機会を持つ	家の回りの美化・清掃に取り組む 地域の健康づくり教室に参加し、日頃の生活に取り入れる 自然にふれあえる散歩コースを地域で決めてみる	緊急時の連絡先を分るところに掲示しておく(救急医療情報キットなど) 地域の自主防災組織が行う防災訓練に参加する 地域活動を通して、ひとり暮らしの世帯を把握する	毎日、誰かと話す 仲間づくりの茶話会を開く 地域活動などを通して、様々な世代との交流を持つ
全世代	世界や全国で活躍する人材を育む滝沢市であること	チャグチャグ馬コが受け継がれていること	岩手山麓に広がる豊かな自然が守られていること	滝沢市の暮らしに安心感と愛着があること	市民が互いに支え合いながら、幸せを実感して暮らせること	
	象徴指標	芸術文化及びスポーツに関する市特別表彰の件数(累計数)	チャグチャグ馬コの滝沢市からの参加馬数	地域清掃活動への参加者数	滝沢市に愛着がある人の割合	滝沢市で幸せに暮らしている人の割合
	目標値	(基準値) 25件 (平成30年度) 37件 (平成34年度) 50件	(基準値) 38頭 (平成30年度) 39頭 (平成34年度) 40頭	(基準値) 19,971人 (平成30年度) 22,000人 (平成34年度) 24,000人	(基準値) 74.2% (平成30年度) 77.0% (平成34年度) 80.0%	(基準値) 61.0% (平成30年度) 68.0% (平成34年度) 75.0%
	やってみよう	滝沢市で開催される各種大会などへ見物に行く 滝沢市民が出場する各種大会などへ応援に行く 芸術、文化、スポーツなどに自ら取り組んでみる	チャグチャグ馬コを見る チャグチャグ馬コの由来を知る チャグチャグ馬コを県内外の知り合いに紹介する	ゴミを出す量を少なくする 地域の清掃活動に参加する 自然を守る活動などに参加する	滝沢スイカなど、農産物を食べる 災害時の避難場所を確認する 滝沢市に住み続ける	日ごろから健康づくりに取り組む 毎日、明るく、元気に学び、働く 日ごろから家族に感謝して暮らす